

## 「火のある暮らしネットワーク」に ご参加ください。

日本の森林を育てる  
薪炭利用キャンペーン  
実行委員会

拝啓

皆さまにはお変わりなくご活躍のことと存じます。

私たち「日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーン実行委員会」は、平成16年度より地域の薪炭利用促進のために学習会やイベントなどを重ねてきた有志の集まりです。

今回、より広く当キャンペーンの活動を展開するため以下に紹介する「火のある暮らしネットワーク」を立ち上げました。

現在、このネットワークに参加を希望される団体・個人の方を募っております。このお手紙はこれまでの私たちの活動とこれからの展望を紹介し、当ネットワークへの参加をお誘いするものです。

以下の内容をお読み頂き、ご賛同いただけましたら、**4**のアンケートにご記入の上、ご返信いただければ幸いです。ご多忙の折恐縮ですが、薪炭利用と火のある暮らしの促進の趣旨をご理解いただき、積極的なご参加をお願い申し上げます。

### ■内容

- 1 キャンペーンのご紹介
- 2 キャンペーンの趣意書
- 3 「火のある暮らしネットワーク」の立ち上げについて
- 4 「火のある暮らしネットワーク」参加ご希望の方へ
- 5 アンケートの返信用封筒

《お問い合わせ先》

日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーン実行委員会 事務局  
〒198-0036 東京都青梅市河辺町5-10-1 セントラルビル 2F  
森のエネルギー研究所内 薪炭キャンペーン係  
tel. 0428-28-0010 fax. 0428-28-0037  
mail. info@sumimaki.org

<http://www.sumimaki.org/>

# 日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーン

## ご紹介

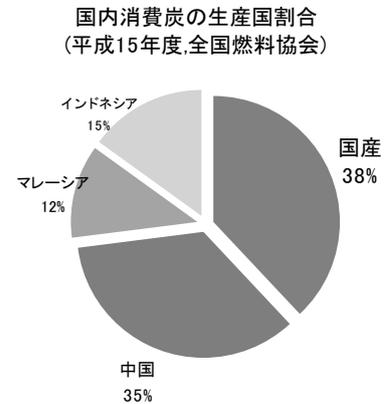
### 1. キャンペーンの出発経緯

私たちがこのキャンペーンをはじめた一つの背景として、2004年秋、日本に大量の木炭を輸出してきた中国政府が、森林荒廃の防止のため木炭の全面的輸出禁止に踏み切ったことがありました。

このことに対して、私たちは、「**国内の薪炭等の木質バイオマス**を暮らしの中に取り戻すことで、**海外の森林資源の枯渇への影響を軽減し、また、放置されている日本の森林を活用し育てることにつながるのではないか**。さらには、**効率一辺倒になった私たちの生活にゆとりと暖かさをもたらすことにもつながるのではないか**。」という思いを持ちました。

そして、その思いを出発点に、森林、薪炭等の木質バイオマスさらには、食や住まい、教育などに関わる幅広い主体の参画による「日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーン」を立ち上げることにしました。

なお、本キャンペーンの構想の検討と前後し、平成16年度には「NGO/NPO・企業の環境政策提言事業」（環境省）で優秀提言を受賞し、平成17年度、18年度は行政や民間企業など多方面の支援を頂きながら、運営体制を整備し、ウェブやプロモートシート等コンテンツの作成に取り組んできました。そして、これからいよいよ広く仲間を募り、本格的に歩みだします。



### 2. キャンペーンの出発体制

日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーンは、平成19年度から、活動をより広く展開するため「火のある暮らしネットワーク」のメンバーを募ります。また、運営に関する検討は、月1回程度の実行委員会（主に東京都区内で開催）及び、メーリングリストでの意見交換を進めていく予定にしております。なお、上記のネットワーク運営に関する各種事務や、実行委員会の進行などについては、以下の団体からなる事務局が行っています。

#### 《事務局構成団体》

- (社) 農山漁村文化協会
- NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク
- 薪く炭く KYOTO (シンクタンクきょうと)
- (株) 森のエネルギー研究所



※本キャンペーンのこれまでの経緯や運営体制については、ホームページ上でより詳しく記載しておりますので、ご参照ください。 → <http://www.sumimaki.org/>

### 3. キャンペーンの実施内容

○ 日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーンは、  
薪炭が持つ魅力を発掘・見直し、世のなかに発信していきます。

薪炭が生み出す火は、からだを芯から温め、家族や友人との関係を和ませてくれます。また、食や祭事においては、食材の旨味を引き出し、伝統的な和の文化と神秘さを演出します。衣・食・住の安全・安心や、スローなライフスタイルが望まれる今、こうした薪炭の魅力を発掘・見直すことが必要だと考えます。



本キャンペーンでは、薪炭の埋もれた魅力や、現代にあった使い方をホームページやイベント・書籍等を通じて、広く発信することで、薪炭を暮らしに取り込む人を増やします。

○ 日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーンは、  
日本や世界の薪炭等の生産・流通・消費を取りまく状況を発信していきます。

薪炭には大きな魅力がある一方で、その薪炭の生産現場は、楽観できない状況にあることも忘れてはなりません。日本で使用される木炭の多くが海外から輸入され、一部の国では森林荒廃が進んでいること、反面国内ではかつて薪炭林として使われていた森林の多くが放置されていること、生産者の高齢化が進んでいること……。



本キャンペーンでは、このような薪炭を取り巻く状況に関する客観的な情報をホームページやイベント、書籍等を通じて、広く発信することで、これらの状況への理解が広まり、地域の中で多様な主体が力を合わせ、状況の改善に向けて歩むことをお手伝いします。

○ 日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーンは、  
薪炭に関わる NPO・事業者・個人の皆さまの情報発信・交流をお手伝いしていきます。

薪炭は、以上のように魅力と課題をあわせもっていますが、薪炭の生産・流通・利用・普及啓発など様々なかたちで、そうした薪炭の魅力を広め、また課題に立ち向かう NPO・事業者・個人の方々がおられることは、とても心強いことであると考えています。



本キャンペーンでは、薪炭に関わる NPO・事業者・個人の方々からの情報発信や交流を、キャンペーンのホームページやイベント等を用いて、お手伝いしていきます。

※本キャンペーンでは、炭や薪だけでなく木質バイオマス全般の利用を推進することを目的としていますが、一般の方が分かり易いように、便宜的に「薪炭利用キャンペーン」としています。

## 日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーン 趣意書

そばにいと明るく、暖かく、触れるほどに近づけば熱い。常に形を変え、色を変え、とどまることをしらない。この上もなく便利で、この上もなく危険な「火」。

そんな火に好奇心を駆られた遠い祖先が、これを手にし、さまざまな工夫を凝らして、ついには暮らしの中に取り込んだことから、今の私たちの文化が生まれた。そういっても過言ではないでしょう。

私たちの住むこの日本では、ほんの50年前まで、暮らしの中の「火」は、森林の産物である薪や炭から得ていました。薪でお風呂を沸かし、竈でご飯を炊き、火鉢や囲炉裏を囲んで暖をとる。そんな光景が、かつて日本のどこでもみられました。

しかし、薪や炭は、パイプを通して自動的に運ばれてきてスイッチ一つで操作できる、とても便利な石油やガス、そして電気に、あっという間にその座を取って代わられていきました。そして、かつて地域の生活や産業を支えていた森林は、見向きもされなくなってしまいました。

取りに行くのも火をつけるのも一苦労、そんな薪や炭を使う毎日。たしかに不便な生活だったかもしれません。

一方で、近年になって、近くの山の手入れをしながら薪炭を得るかつての営みが、結果として地域の森林の保全に寄与していたことが明らかになってきました。化石燃料もほとんど使わないため地球温暖化の問題とも無縁な、循環型の暮らしであったと言えます。

また、居間の中心にあった囲炉裏やストーブ、台所の中心にあった竈の「火」が、親子や兄弟の会話を生み、家族の絆を育てていたとも言えます。

私たちは、薪炭による「火のある暮らし」を提案します。もちろん、過去を懐かしんでいるわけではありません。

国内の薪炭等の木質バイオマスを、今の時代にあった形で、暮らしの中に取り戻していくことで、家庭においては家族の絆を育み、さらには、海外の森林資源の枯渇への影響を軽減し、また、放置されている日本の森林を活用し育てることにつながる、と考えるからです。

このキャンペーンに、出来るだけ多くの、そして多様な地域、世代、職業、団体の方に参加してもらうことで、個人と社会それぞれが、自らのあり方を見直す“きっかけ”を与えられると信じています。

皆さまの参加を心よりお待ちしております。

## 「火のある暮らしネットワーク」の立ち上げについて

薪炭利用を広く進めるためには思いを同じくする個人・団体がともに動きを盛り上げていく場が必要です。そこで当キャンペーンではそのような場として「火のある暮らしネットワーク」を立ち上げることにしました。当キャンペーン事務局は以下のメニューを通じてこのネットワークの活動を推進していきます。

### ■ 薪炭等のバイオマス利用に関する情報の交換・発信、アイデア・ノウハウの共有のために

#### ① 情報交換用メーリングリスト

- 火のある暮らしネットワークにご参加いただく団体・事業者、個人の方々を登録したメーリングリストを開設し、相互の意見交換、情報交換をすすめます。

#### ② 薪炭キャンペーン・メールマガジン

- 薪炭等に関するニュース、イベント情報、各地域での活動情報、コラムなどからなるメールマガジンを月1回程度配信します。

#### ③ 薪炭関連情報、団体情報等のデータベース構築、情報発信

- ホームページ上に、薪炭等の各種ニュースや、参加団体の活動内容・先進事例等の情報からなるデータベースを構築し、アイデア・ノウハウ等の発信・共有に取り組みます。

### ■ 地域における薪炭等のバイオマス利用の推進のために

#### ① 薪炭利用ハンドブック及びプロモートシート

- 薪炭等に関連する動向、地産地消に向けた先進事例などを分かりやすくまとめた「薪炭利用ハンドブック」及び、皆さんの地域で、薪炭の地産地消の取り組みをすすめられる際に活用していただける「薪炭利用プロモートシート」をご提供します。

#### ② その他、市民参加型薪炭利用プログラム・ツール

- 薪炭キャンペーンでは、これまで「薪炭マップ」や「市民レポーター養成講座」等、地域で薪炭利用に取り組むための市民参加型プログラム・ツール開発に取り組んできました。自分たちの地域でも薪炭利用を進めようと希望される団体・個人の方にこれらのプログラムやツールを提供します。

## 「火のある暮らしネットワーク」参加ご希望の方へ ～ アンケートにご記入下さい ～

さて、本キャンペーンおよび「火のある暮らしネットワーク」についてご理解いただけたでしょうか。是非当ネットワークにご参加いただき、一緒に薪炭利用のうねりを盛り上げていただきたいと思います。

どうかこのアンケートにご記入いただき、当ネットワーク参加へのご意思をお伝え下さいますようお願いいたします。(このアンケートのご返送で当ネットワークへの参加希望と見なします)。

なお、記入・返信の方法としては、以下の①～④の4通りの方法を用意しておりますので、いずれかをお選びください。

### ①キャンペーンホームページのフォームで回答する

→キャンペーンホームページに回答用フォームを用意しておりますので、インターネットからご回答ください。

(回答用フォーム：<http://www.sumimaki.org/O1/san.htm> )

### ②メールで回答する

→今回お送りしているアンケート用紙に挙げている項目について、キャンペーン事務局宛([info@sumimaki.org](mailto:info@sumimaki.org))にメール発信ください。

### ③アンケート用紙に回答、返信用封筒で郵送する

→今回お送りしているアンケート用紙にご回答いただき、同封の返信用封筒に封入の上、ご投函ください。切手は必要ありません。

### ④アンケート用紙に回答、FAXで送る

→今回お送りしているアンケート用紙にご回答いただき、キャンペーン事務局宛(0428-28-0037)に、FAXで発信ください。

## 「火のある暮らしネットワーク」 アンケート

### 《郵送・FAXの方法について》

- 郵送していただく場合 → 同封の返信用封筒に入れ投函
- FAXで送っていただく場合 → 0428-28-0037 に送信

### 《ホームページでの情報公開について》

- 団体・事業者で参加される方については**、団体情報を、本キャンペーンのホームページ上に公開させていただきます。
- 個人で参加される方については**、原則的に、氏名はイニシャル表示で公開、連絡先は非公開とし、②の「活動内容」と、③の「メッセージ」のみ公開とします。

※公開を希望されない情報については各回答欄の右側のチェックボックスにチェックしてください。

### ① 個人・団体について

団体・事業者の方は全ての項目にご記入ください。個人の方は（※）のついた項目以外に、差し支えない範囲でご記入ください（ツール送付を希望される方は、住所もご記入ください）。

			非公開を希望する項目にチェック
団体名・個人名			<input type="checkbox"/>
団体担当者名（※）			<input type="checkbox"/>
住所	〒 -		<input type="checkbox"/>
TEL		FAX	<input type="checkbox"/>
E-mail			<input type="checkbox"/>
URL			<input type="checkbox"/>
団体会員数（※）			<input type="checkbox"/>
主な活動場所	地域を限定する場合） _____都道府県 _____市町村 地域を限定しない場合） 国内 海外 （該当するものにマル）		<input type="checkbox"/>

## ② 活動・業務について

- 各区分ごとに該当する活動・業務について、実施有無についてご回答頂くと共に、具体的な活動内容について、可能な範囲でご記入ください。

活動・業務の区分	実施の有無	具体的な活動・業務内容についてご記入下さい
森づくりに関する活動・業務	有・無	例：里山整備、森林ボランティア活動、薪炭林施業の研究 等
薪炭等の生産に関する活動・業務	有・無	例：炭焼き、薪づくり、ペレット製造 等
薪炭等の流通に関する活動・業務	有・無	例：薪炭の卸売、ペレットの配達、薪炭の流通に関する調査 等
薪炭等の利用に関する活動・業務	有・無	例：調理での薪利用、薪炭使用飲食店の調査、バイオマスの普及啓発 等
その他	有・無	

- 薪炭等のバイオマスに関連する商品、ツールがありましたら名称と内容をご記入ください。

例：「七輪太郎」（現代的デザインの切出珪藻土の七輪） 等

- 他地域でも応用可能な取り組み事例・アイデアがありましたらご記入ください。

例：薪ストーブ・ペレットストーブのモニター調査、地域の炭焼きの歴史の聞き書き 等

## ③ メッセージ

- 薪炭等に対する思いやメッセージ等をご記入ください。

- 事務局へのご意見・ご要望等ありましたらご記入ください。

この項目については、事務局の参考とさせていただきます。

お忙しいところアンケートにご記入いただきありがとうございました。